いわき民報

發行所
平市田町48 電381．176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

神谷、飯野、赤井の一部合併せば
人口四萬七千に
大平市建設の構想

平市と神谷、飯野兩村の合併問題は平市側の云分によると年度内にこれを實現させまた最近は赤井村一部からも合併申入れがあつたので出來得れば三村の編入を同時に實行したい意向で進んでおり兩村も着々併合の氣運釀成を行つている而してこれが實現すると神谷、飯野を合せ四萬二千二百人面積四十六、五十二平方キロ（十一月現在、平市統計係調）の『大平市』が生れる譯で更に赤井村の一部を加えると四万七千七百人の人口となる譯である鈴木平市長、神谷村長、高木飯野村長に『合併の理由』と時期を聞いて見るー

商業生産の共同體へ
赤井の一部も合併を希望

平

△…飯野、神谷との合併は時代の要求によつてなされるもので必然性があつた假に平驛を市街地の南側に移轉する場合鐵道布設の關係で飯野側の土地を借りなければならない、また市の將來を考えたとき商業都市として行くより生産てきな農村と共同体を作つて行くように發展させた方が理想てきである、合併によつて市民税が増加するということは考えられない、シャウプ勸告によつて入場税が縣移管になるが本年度中は持つて行かないし加えて中央の配付税も來るから市廳舍二中三中の建説は豫定通り進められる

△…合併による利益不利益については全く考えていない、合併したら相手方の希望を受入れて行くつもりである、シャウプ勸告は市町村が學校、警察其の他の活動を獨立して維持することが困難な場合には市町村はその隣接地域と合併することが勸告されているところから見てもうなずけるはずだ、その點からしても財政的に苦しい町村は合併して行くようになると思うが赤井村でもこの氣運がもり上り平寄りと小川寄りが半分づつそれぞれ合併したい意向がありこの程交渉委員をあげ合併の申入れがあつたので年度内に出來得れば三村合併にもつて行きたい

△…神谷、飯野との合併實現後は兩村の役場はそのまま市役所出張所の形で殘し所長には地元民の贊意を得た者を政務助役として置き現村議は任期の殘りを相談役として遇したい、また現在の市廳舍内の機構はそのまま變更せずに置きたい

各層で調査機關設置
村民投票で可否決定

神谷

▽…合併に愼重を期する意味から村會、村内各層代表者をもつて調査機關を設置し合併したばかりの福島や白河、または舊平窪の實情を視察、調査報告書と隣接町村や平市の財政説明書を作成、これを公表すると同時にこれに基き合併條件を作り平市側と交渉しこれが了解した場合と雖も村會の一存で決めず最後は村民投票を斷行して可否を決めようとしており何れその間シャウプ勸告案も具体化するものと見ているが年度内の實現を期している

▽…合併に際しつぎの場合は反對したいと指摘している、即ち單に平市が人口を殖すための合併ならばこれを排し生産都市に轉換することを條件として進み或る程度農村出身の市議を送るように努める、この點は飯野と共にすすむ財政面に關しては税金の課率を現在より増加しないこと、換言すれば納税總額よりも施設總額が大なる場合市役所の支所を村内に設けず勞働的、經濟てきに村民が好都合を受けないとき

村會で最後の結論
無醫村の不便を一掃

飯野

△…平市との合併に就いては白河方部の前例を調査する爲十月中旬村會議員一同と視察研究に行つて來た結果、案外順調に成功しているのを知つた、合併は年度中には何とかハッキリした態度を決めるべく考慮中であるが近く村會を開き一部反對する人達もあると考えるからその意見を充分聞き結論を出したい

△…合併した場合、村としては現在の無醫村の不便を一掃するため保健婦（現在一名）を六名位に增加し健康保險制度を強化する、消防設備が不完全なので合併により市の完備した恩惠に浴される、そのほか道路、橋梁の修繕も出來る、また第三中學校の建設により小學校の敎室が六敎室も余裕出來、現在の裁縫塾や小學校特別室に利用出來る

△…問題は合併によつて村民が一般的に懸念しているのは今般のシャウプ勸告に基く税制改革で町村税が多くなるのではないかとのことであるが市では合併しても今までと何ら變らない樣にすると語つているから心配ないものと考える

× × × ×

募集
食堂の給仕（通勤）
勝手の女中（住込）
委細は面談の上決めたし
平市田町四八電一七六
輕食と喫茶 ブラジル

團交を再會
明二日に

炭鑛賃金交渉は鑛業連盟、炭勞との事務接衝で二日午後一時から市勞働會館（豫定）で愈々團体交渉再開を決まつたが十月六日以來今度で第十六回の交渉を重ね、この間小委員會非公開接衝等で緊張の中に精力的交渉を行つて來たが年末を迎えて今後の交渉は極めて注目される

配給もの
石鹸一人一個

平市經濟課では本年度第二回分の家庭用石鹸を配給する一人當り一個（十一月分）四日から二日間、物資購入通帳を登錄小賣店に提示して購入する

自轉車リヤカー

平市自轉車リヤカー配給委員會は三十日午後一時より開き自轉車二十六台、更生自轉車二台、リヤカー五台の配給を抽籤により決定した

炭勞管理審議會開く

第二十二回平地炭鑛管理審議會は三十日午前十時半から局會議室に開き、東亞炭鑛の鑛業權譲渡、大日本勿來炭鑛斤先坑の使用權設定等六件を審議したが何等問題なく勞組からの同意書も提出されてあるので原案通り諒承、次で鈴木管理部長から公團廢止後の炭鑛金融對策につき

◇公團廢止後の炭鑛金融對策について先に絆本からその方針が發表された如く今後はコマシャル・ベースによる市中金融を更に一段と強化する外なき狀態となつた

◇當局の打開策として炭鑛と銀行間との連携を一層密接にするため平地方金融協議會各縣信用保證協會の擴充強化のため各關係方面に要望する等これが實現化に努力している

との經過説明があつて、各委員から中小炭礦の逼迫した金融難打開のため平地方炭鑛金融協議會の積極てきな活動に對する要望あつて正午閉會した

金詰りを當て込む
もぐり金貸し檢擧

金詰りを絶好のチャンスとばかり必要な金に差し迫られた弱い人人に目をつけ高利で金を貸し付けて自腹を肥している惡質のもぐり金貸しが平市署に擧げられた、此の男平市鎌田町古物商渡邊義平（六九）というコチ〳〵の欲張り屋で本年十月頃から配給物をとるにも困る可愛想な人人を相手に本職の古物商はそつちのけにしてもぐり質屋を營み衣類等を抵當に十日乃至十五日に一割乃至一割五分の高利で金を貸し期日が來たならば情容赦もなく質物を流していたもの、然も脱税の疑いをかけられるのを極度に恐れて帳簿面は借金主が借りた金に利子を加えた額に等しい代金で質物を買つた樣に見せかけて巧妙な脱税方法をとつていたもの、幸いに正義の眼はくらまし得ず帳簿不備から平警察署に判り今捜査の對照となつているが本人は飽くまでこれを否認している、なお被害者は今まで判つている所では內郷町御厩引地イヤ子さん等八人で殊に引地さんの場合のごとくセルの男物給を抵當に十日一割の割合で五百円借り受けたが期日に僅か遅れたため流されてしまつたという狀態で社會の徹底的な指彈を望まれている

拳骨强盜捕る
消防團追跡格鬪して

三十日午後八時五分ころ飯野村大字北白土字木ノ下二七農業山野泌定之助さん（五三）方に强盜が押入り、隱居部屋で工作の宿題をしていた正治君（一五）の頭部をげん骨でなぐりつけ、同部屋を物色したが何もないので棟續きの母屋に入り圍爐裏で新聞を一人で讀んでいた長男正一君（二九）に『金を出せ』と脅かし格子縞のセーターに背かけの胴卷に手を入れたので危險を察して正一君は夢中で家外に路出し騒ぎ立てた爲强盜はその儘白十八幡神社の方に逃走したところ、同村消防團員十數名の協力で遂に平市鎌田町地内東北ガラス工場附近の畠で午後八時四十分ころ格鬪の末捕まった

この强盜、住所不定小山良治（二二）とゆう身体に入墨を刻んである與太者で、目下平地區署で取調べ中であるが『金がなかつたので衣類でも盜ろうと―てやつた』と自供しているが、この晩、幾分病氣を帶びており、この家に入る前午後七時四十分ころ南白土字宿農江尻東藏さん（五三）方にも押入ろうと―て子供にみつかり失敗したもので、胴卷きの中には七寸位の煙管をかくして小刀にみせかけたものである

昏醉强盜の
容疑者釋放

（昨報）湯本町署では二十八日以來內郷町宮壽炭礦坑夫遠藤榮吉（四〇）を昏醉强盜容疑者として檢擧取調べていたが毒物檢査の結果も白の判定を受け一方被害者中山ステさんの屆出に被害物が固定できなものでなく流動性の强い現金である所から證據の判定が極めて困難となり加えて遠藤が默否權を行使するため事件の核心を探ぐるに到らず終に三十日午後證據なしとの理由で同人を釋放した

坑夫の萬引
現行中捕る

山田村上山田大照炭礦採炭夫小林政雄（二七）は三十日午前九時半頃湯本町石屋洋品店白濱美さん方店先から反物一反時價千七百円相當を万引する所を現行犯として湯本町署員に捕まった、なお同人は本年六月頃同樣な万引を働いたことも自供した

天氣予報
一日

【今晩】北寄りの風、雨後曇

【明日】北風朝の中はまだ雨が殘るが後次第に雲は高くなり薄日の洩れる事もある・海上沖合はウネリが高く航行中の船舶は注意下さい

婦人連合會結成へ
來春早々發足の豫定

平市の各婦人會長會は二十九日午前十時から地方事務所第二會議室に八婦人會長が集り縣社會敎育委員金成キミ女史を圍んで意見の交換を行つたが、從來は各婦人會とも個立して居り連絡强化を計る何ものもなかつたので今後は連合會を作つて横の連絡をはかることを決定し來春早々發足することになつた

支那ソバは
専門店の
華香樓へ
電七〇二番
出前迅速

1日…5日
スパイ團の手におどる女
暗雲をはらむ第二次大戰直前地中海に、密輸船と潛水艦の爭闘を描いて波亂萬丈の巨篇
『地中海』
ネガ製作 東和商事提供
アリボール マルセル・サンタル
內郷 第二イワキ

＝眼科＝
野地醫院
平市鎌田町
平神橋際

電話五二〇番
元ノ電話番號ニ復活致シマシタ
御料理 すき燒
つばき
山茶荘
平市仲田町69

タナザライ
コレ以上ノオ買徳ハナイ
○女用色タビ　特價60円（公價150円）
○男児純毛オーヴアー　特價1700円（公價3500円）
其他衣料イロイロ特賣
12月3日…5日マデ
但シ數ニ限リアリ、オ早ク！
於紺屋町21
バンスイシヤ

祝開店十五周年
サービス提供
甘い仙台飴菓子
5圓ウリ……4圓に
2圓ウリ…6ヶ10圓
其他御物各種
極上栃木名産番傘
大㊣245円 170圓
中㊣177円 140圓
名入無料
平市長橋町
マスヤ商店

幸運賞
第5回 30万圓
常陽の幸運定期
特賞 10万圓 カラクジなし
明るい家庭・樂しい預金

12月1日より
衣料品
歳末大奉仕
服生地 各種 銘仙と友仙
其他サービス品毎日店頭販賣
◇本年最後の御奉公 御買上毎に粗品呈上◇
衣料品の店
かみや
平市二丁目 電256

最新アメリカ式
圖解洋裁全書
婦人世界新年號大附錄
『眞相』赤露の戰慄入荷
平市銀座街（電一〇七四）
石川書店

店名披露
大賣出し
◇キツトお氣に召す景品付◇
12月1日……5日まで
デパート 藤越
平市銀座通（電265）

五十年前の日本美術院を回顧して

齊藤磐山

新橋から淺草迄のガタ馬車が東京市内の幹線で當時の田舍者には物珍らしく感じたものであつた、更に僅かにあつた、銀座の煉瓦道がたいしたものに思つたりした、現在の輪タクが驛から四五丁目乘ると一人乘りが百円というのに五十年前の人力車の運賃を考えると全く噓のやうな話としか思われない、田舍者の自分が日本畫を研究する目的で初めて東京谷中に出來た日本美術院に出掛けた時だが下宿屋を上野の櫻木町に定め市內見物かたがた買物に友人と共に外出の歸り途、友人が未だ用事があるので余に一足先に戻つてくれといつて出た、其時友人がいうのに君は下宿屋の番地がわかるかと問われた、余は田舍も同然に思つた櫻木町の下宿屋など行けばすぐわかると思つて友人と別れ元の下宿屋のあつた筈の場所に戻つて見ると違うことになつた所が番地も屋號もうつかりしたことに氣がついたがもう遲い、困つて居るところに車夫が通りかかつた車夫の方から御案內しましようとの言葉を幸い車上の人となつて見たがさて其行先が實にふるつて居るので思い出しても恥じ入る次第、もう錯覺を起して居たのだからわかる筈がない、櫻木町の下宿を全部當つた末、やむなく兄の定宿であつた神田明神下の宿屋迄車夫を走らしたのである、約小半日を費した賃銀何と驚く勿れ金貳拾錢であつたことは夢の樣な實際談であるが、田舍者の失策とそこつから出た笑話でもあつた、凡てが五十年前の物價を今日と比較して考えると全く別世界の觀して驚くばかりである

さて日本美術院は明治三十一年に初代美術學校長であつた天心岡倉覺三先生並に當時既に帝室技藝員であり前美術學校教授の日本畫の大家橋本雅邦先生を主幹に、雅邦門下の四天王と呼ばれ―現在帝室技藝員の橫山大觀故人となつた下山菱田春草西郷孤月の諸氏外に木村武山氏を加え日本繪畫の研究指導の機關として創立されたのであつた岡倉光生の美學や美術史の講演、雅邦先生の日本繪畫の指導と並び大觀、觀山、春草、孤月、武山の諸先生の研究指導の態度を回顧する時全く美術發祥の殿堂の觀があり今日の如き日本美術繪畫界の隆昌に貢獻せし功績の偉大なりし事を思わざるを得ない次第である、他日項を改めて記することにとして筆をとめる

宅地家屋賣買物多 龜田屋商會 平市三丁目

映畫教室に意外な反響

觀賞した父兄の感想を見る

平市映畫教育協會では每月の映畫教室に父兄もという案を樹て十一月の映畫教室（卵は語る、谷間の少女、狐と蛙）に父兄の招待日を設けてかん賞させたが平一小ではその後父兄五十名に對して感想文を依賴した處意外な反響があり關係者を喜ばせている

父兄の年令層は三十才から五十才までで大半が四十才前後で▽生徒全部の父兄が觀ればよかつた▽もつと文化の進んだ地方の學校の樣子、勉强振、態度、或は社會施設等の映畫をとり上げて欲しい▽父兄に觀覽させたため夕食後子供と共に評釋し合う事が出來てよかつた▽一般家庭の『映畫教室』についての無理解なものにも納得が出來た▽子供より先に觀たい▽PTA會には集まる顔振れがいつも一定しているがこの招待日には大部分が來て居るのでこの方が實質的だ等等の總評を得ているがこの聽、視覺教育を通しての具体的なものを拾つてみると科學映畫『卵は語る』の卵の形に三角形のもの細長いものなどのあることを始めて知つたものが五十六％、卵の色が種種異なる理由を始めて知つた四十％、二十一日間抱いている間の卵の內部の變化がはじめて判つた七十六％、人間も豚も蛇も魚も形の成り始めは大体同じようなものであることを知つて驚いた八十％、で何れも說明ではつきりしないことが一目で分つたことに映畫教室の必要性を呼んでいる又これを兒童側にみると分つた者が二年生二十一％、三年生四十五％、四年生八十九％、五年生九十五％、六年生九十八％となつて居るが擔任教官の話によると低學年兒童はただ觀るだけでそれで良く四年生ごろから『なぜだろう』と解答出來るようになりみる眼の問題（指導）とみる力の問題（年令）が重要で父兄や教師側の補說指導が要求される譯であると言つている

また低學年兒童は漫畫であれば無條件に面白がるが四年生ごろから批判てきになつてあの漫畫は音樂も少しせわしくて眼がつかれて嫌だと評している、どんな漫畫が好きかと言うと二年生はトラちやん、ねこの嫁入り、三年生冒險もの、忍術、ターザン、四年生色彩もの、せりふのない音樂入りのもの、五六年生、フクちやん漫畫の樣に自分達の生活から取つたもの、あまりいそがしくないもの、自分と同じような心になるもの、自分達の考えも及ばないようなものの等となつて居る

これら映畫教育のスピリットについて橋本理事長は語る

私は常に具体てきな事物の運動と抽象てき論理の發展を結び合わせて理論と實践とを統一していく生産てきな科學てきな人間をつくり出して行く教育には『映畫』という手段がどうしても必要であると思つているが目下の處觀念を裏づけするに足りるだけの物質てきな條件を持つていないがこの社會てき現實の改變のためには是非とも映畫教育が必要であると信じている、これは放送教育と共に多くの教具の一つであり教育の補助具であるから教育目てきに仕える手段であると思つている

一万米マラソン大會

三日 磐高て富貴内間往復

磐高では三日午前九時半から全校生徒參加のもと學校―富貴內間往復（約一方米）の第二回校內短縮マラソン大會を開くことになつた、なお本大會は單なる競技ではなく保健体育教材の共同學習として實施するもので當日は醫學的方面からは勿論精神的方面からも種種研究、檢討され健康の保持增進と社會性の養成とをモットーに行われることになつている

忘れられた子等

―特異兒童の問題―

新田目五郎

校長が眞面目くさつた顔で『正秋よ、お前、どこの部隊へはいるんだ』ときいた

『さあ、どこの部隊やつたかいなあ』

正秋は思い出さうとして、眉を寄せながら天井をふり仰いだ、やがて當惑した顔を、隣の仁之助のそばへよせて、聲をひそめてきいた

『おい、仁ちやん、わしはどこの部隊へはいるんや』

『何云うてんね、兵隊に行くのと違うがな、働きに行くんやないか』

『ふーん、さうか、そやかて校長先生がどこの部隊へはいるんやてきかはるがな』

『そら、そう云うことをきくのは、この頃の流行ぢや』

『あ、さうか』

正秋が校長の方へ眞面目な顔を向けた、そして

『校長先生、そら、流行ですわ』

と云つた

校長は額に手を當てて參つたと云うやうな顔をした

（田村一二氏著『特異工場』より）

世に低能と云われる精神薄弱の子供達生活年令の進むと共に學齡として就學し、そして卒業して行く一般の他の子供達から、馬鹿と呼ばれ、のけ者にされる哀れな兒童達、この子供達にも人間として生れ出た以上生くる權利があり社會はまた、それなりに庇護する義務があるはずである、容も持てない程の重症の白痴より、輕度の魯鈍に到る迄全國幾万のこの者達は少年保護の呼び聲の高い昨今如何にあるであらうか、特定の收容所にある者を除いては全く世の厄介者として放置されてある許りである、或は浮浪兒となり、少年犯罪者となり社會の邪魔者として蔑視されるこの子供達は又方法によつては善良な市民に迄成長し得る、深い愛情の下にこの種兒童の本質を理解した科學的な指導と訓練によつては冒頭の樣なほほえましい情景となるであろうことを信じたい

『一つの作業を仕上げて、その身についた職業となる迄には十年かかります、十年かかればこの樣な子供達にも社會に出て暮して行く仕事をさせる樣に出來ます』

と柔和な眼に信念をこめて語つた、伊豆大島、藤倉學園の故川田園長の思い出は綠濃い夏木立の中に默默として園兒と共に鍬をとつて居た敎官諸氏の姿と共に筆者には忘れ得ぬものである本週當市で、これら特異兒童を扱つた問題の映畫『わすれられた子等』が上映される由であるが、この映畫によつて『わすれ得ない子等』となるならば直接この子供達の訓育に從事する人人のみでなく筆者等之に關心を寄せる者にとつても大きな喜びである切に市民諸氏の一見を望みたい

（筆者は醫師 元東北大學精神科講師）

常磐炭鑛で保安祭

十一日施行 從業員には記念品

常磐炭鑛では十二月十一日の公休日を選び『保安祭』を行う、この日午前六時を期して花火をあげ本年、來年を通しての保安各山神社に參拜保安祈禱を行う、會社では從業員一万四千名にそれぞれ記念品を贈呈し、今後の炭鑛保安を强調する

配給事務說明會

石城地方事務所では三十日午前十時から管內町村の係員、農業協同組合關係者を全所會議室に集め石油、ガラス、セメント等の配給事務について農林省資材調製事務所常盤事務官他一名の指導說明會を行つた

愛煙家も安煙草へ

……專賣公社から見るデフレ世相……

專賣公社平出張所では福島支局の指示に基き十一月分から家庭用配給タバコ辭退分に對しては十日間待つても購入しない場合の措置としてその分は自由販賣することにしているが、最近師走の風を迎えて愈々金詰りが響いてか、一時マズくて吸えないといわれたゴールデンバットの辭退者は殆んどみられないといつた狀況それに自由販賣のタバコの賣行きをみると、一番多いのが値安な『ハッピー』、その次が『新生』『光』となつており、原料がまづい『憩』は光よりも賣行は芳しくなく、味がよくて値段の高い『ピース』は依然賣行き低調、公社でもこの賣行き狀況をみて近く『ハッピー』を取寄せることになつたと言つているがこの面からも愈々物足りず金足りずといつたデフレの世相がきびしく現われて來た

雜誌"作風"

下旬に發刊

平市レクリ協會理事菅田甫、湯本町新樹會芳賀仲郷の兩氏はかねてから綜合雜誌『作風』を計畫していたが十一月中旬出京して中央の文筆家と交涉の結果一流作家の應援贊同を得たらしく、いよいよ今月下旬新年號から發足することになつた

創刊號は五十二頁で草野心平氏の詩、江口榛一氏の小說などの他に文學評論、經濟評論、演劇、社會狀勢、科學等いかにも綜合誌らしい行き方であり、特に鄕土の新人を紹介して未來の芥川賞や直木賞獲得まで漕ぎつけようと意氣込んで居り注目されて來た

死藏品賣捌き

デコ市 十七日から

金詰りによる購買力の低下で市內の各商店では死藏商品の堆積で悲鳴をあげているが、この程平市六丁目サカイヤ商店（岡崎榮造氏）の發起でデコ市（假稱）と稱する手持死藏商品の投げ賣りを始めようとする運動が進められ現在市內十五軒の商店が參加、平市商工會議所、平商業協同組合等の後援で十二月十七、十八、十九の三日間に亘りこの『出庫市』を實施することになり最近露天に現われた投げ賣りの傾向や、年末を控えて大サービス販賣を計畫している市內各商店の動きと呼應しているので市民から相當よろこばれて迎えられるものとみられている

十四万貫

十一月中旬 水揚

縣水産事務所管內の十一日中旬の水揚高は十三万九千六百九十八貫で昨年同期より八万二千四百二十七貫の減となつている

（內記次の通り單位貫）

◇いわし二〇◇サバ一三◇タラ三六◇サメ七三◇カレイ四〇六三◇タイ七五◇ヒラメ一五、九◇サンマ五二四八◇トオヂン九、五五一◇スズキ三〇四◇アンコ三八一◇ドンコ七二◇キント五五◇白魚四四◇ハモ二四三◇ホウボウ六六◇その他三、三五五◇いか四四◇タコ五七、七四〇◇エビ一◇カニ二七六◇ホッキ九四一二◇總合計十三万九千六百九十八貫

いわき歌壇

湯本新樹會第二回歌會詠草

トランクの重きに耐えてをみな兒と雨の道を急ぐ父病む村に

遺言は何もなくして長子吾の居らぬをなげき逝きたりと言う

成田瀧美

となり家の老いし夫婦は駄菓子などまばらに並べわび住みて居り

矢內豐子

初霜の朝を路地に群がりて焚火せる兒の頰の紅さよ

吉田 博

湯の嶽・靜かに暮れて夕靄にちらちらと見ゆ小野田の灯り

落盤を僅かに避けし昨夜のこと朝湯に語る老いたる坑夫

吉田昌臣

鼻歌で炭積みくるる先山に負けじと吾はスコップを振る

安田二郎

一本の庭の公孫樹の黄葉照りて夕づく部屋に心たらへり

鈴木誠四郎

平市五丁目
久 釜屋商店
電九・九九・九九九番

外科 泌尿器科
眞木醫院
平市南町（公會堂通）
眞木光邦
電一一九五

プラチナ萬年筆
大好評
發賣中
岡萬年筆店 平三丁目電399

精工舍の時計
常盤屋時計店
平一（電三三九）

コーヒーとケーキ
トンカツと酒
憩
平市一丁目南通り
電七七九番

一番親切で信用のある
平市平和通り
三浦商會
電話八六四番
斯界の王座
コントロールミシン
蛇の目
ミハト
リッカー
ニッポン
ミシンのミウラ

一般家庭用
木炭より徳用
經濟的で
火付良く
棒タドン
―市原商店特製
コタツ、暖房、病人用
御注文には配達致します
市原商店
平市一丁目 電244

お茶とお菓子
酒と洋酒
ニユー・ピンク
平市三田小路

ジンガーミシン
純正保證中古出物
家庭用營業用
大和屋商會
平市田町大通
驛ヨリ西ヘ一丁

新發賣1瓶100円
ライトグローリアスインキ
文房具
書籍雜誌
度量衡
播提小路
文 魁文堂
電三一三

精神科
平市才槌小路
新田目醫院
電話15番

金物一般
平 マルヘイ
平市銀座電一四